

平成 24 年 1 月 25 日

報道機関各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号**行政組織の機構改革(案)がまとまりました**

小千谷市では、行政改革実施計画(組織の再編)に基づき、市民ニーズや社会の動向を見据えた組織づくりをめざしており、平成 24 年 4 月 1 日に機構改革を行うこととして、市議会第 1 回定例会(2 月 28 日招集予定)に関係条例案を提案します。

■機構改革の概要**◆「危機管理課」を新設**

東日本大震災による福島第一原発事故を受け、柏崎・刈羽原発から 30 km 圏内(UPZ=緊急防御措置区域)に位置する本市においても、原子力災害を想定した対応が喫緊の課題となっている。また、近年の自然災害や感染症、さらにテロリズムの脅威など、住民の身の回りの安心・安全を脅かすさまざまな危機事象が発生していることから、災害等に対する応急対策の迅速かつ的確な推進が求められている。このようなことから、あらゆる危機に対応し得る総合的な危機管理体制をより一層充実・強化し、「安心安全なまちづくり」の更なる推進及び防災力の強化を目的として「危機管理課」を市長部局に設置する。

- 「危機管理課」を設置し、同課内に「危機管理係」及び「原子力安全対策係」を置く。

◆業務統合等による係の再編**【ガス水道局関係】**

- ガス水道局業務課に「お客様係」及び「宅内設備係」を置き、従来の「業務係」及び「下水道係」を廃止する。
- ガス水道局施設課に「維持管理係」を置く。

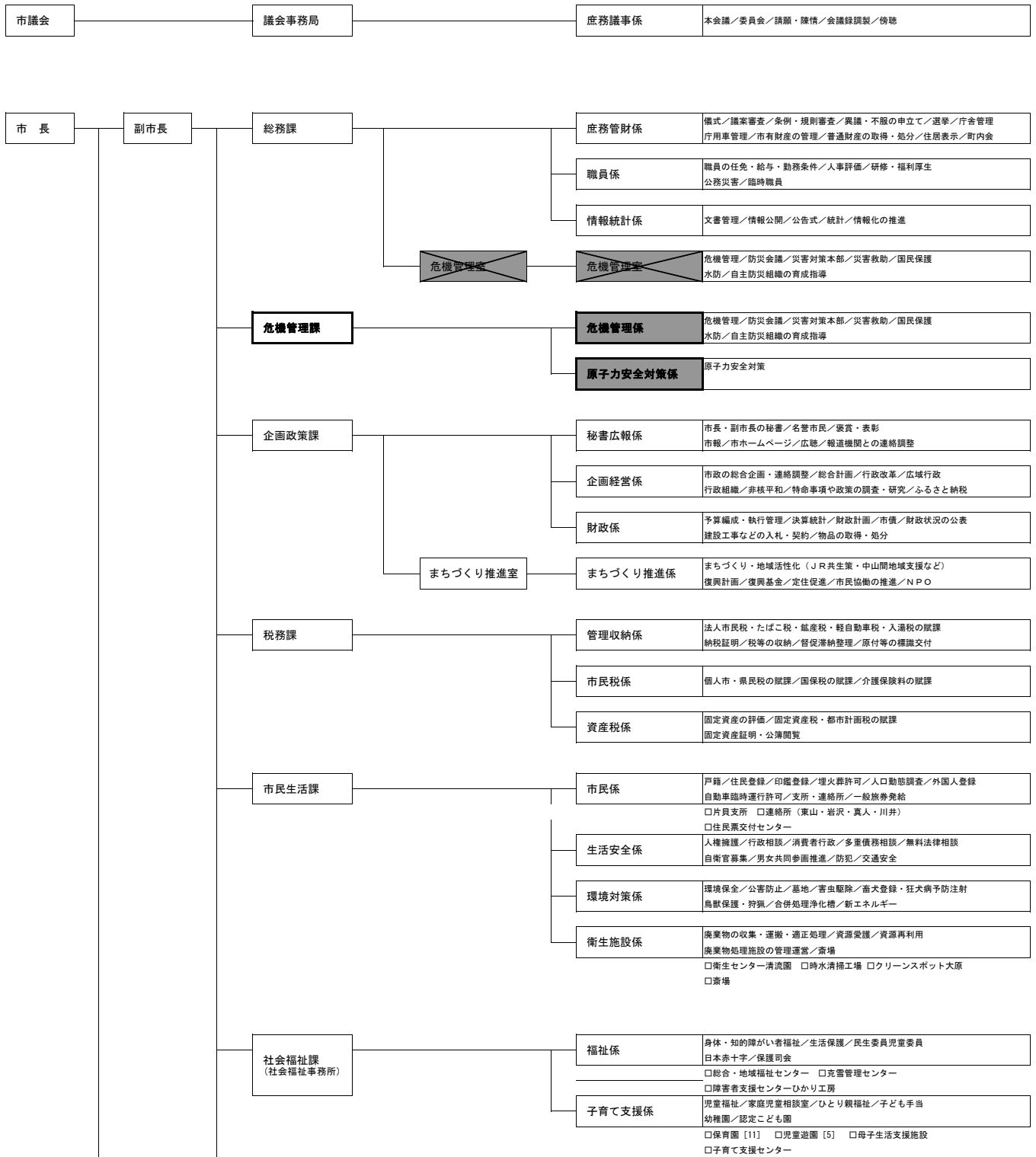
【生涯学習スポーツ課関係】

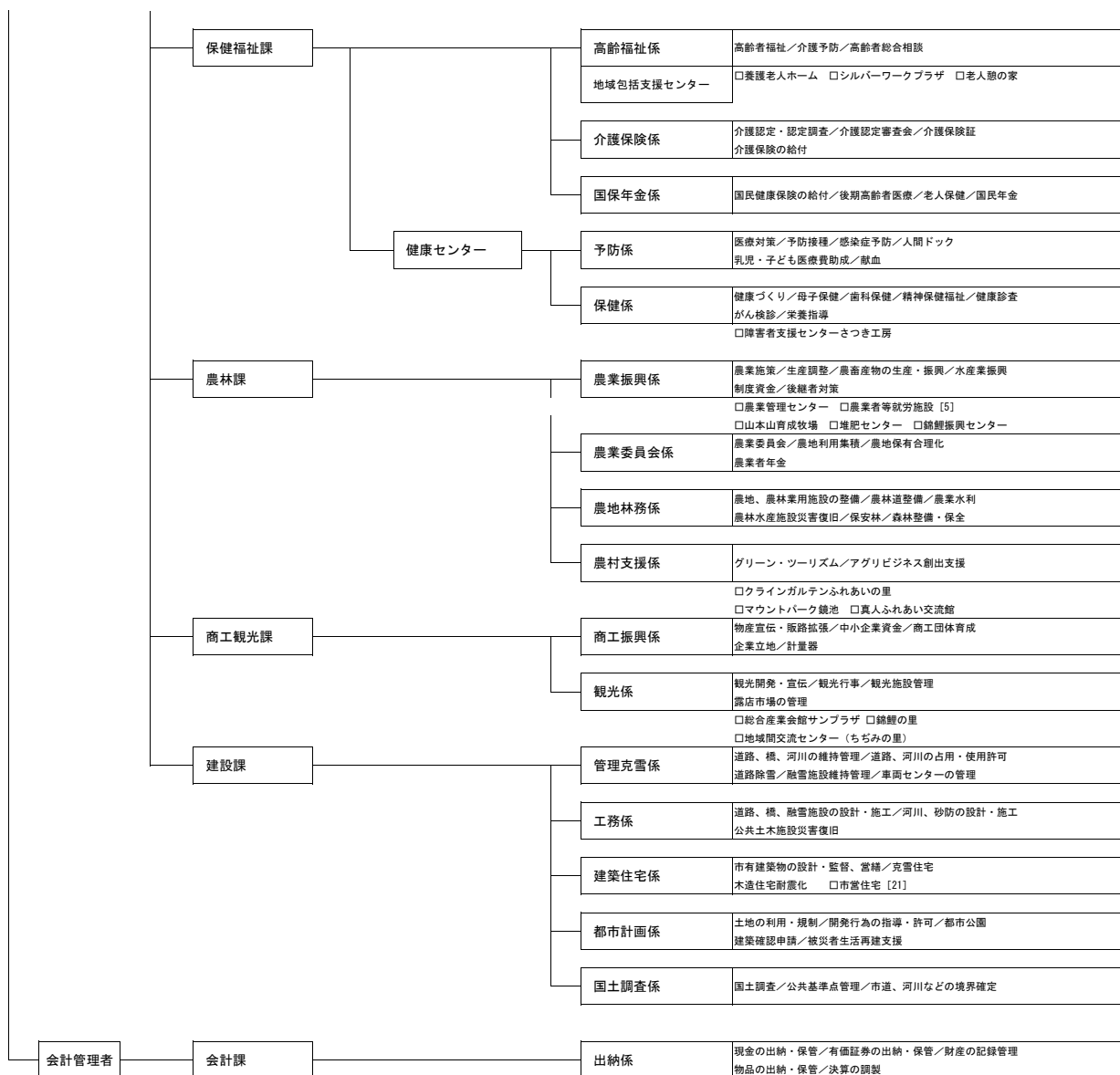
- 従来の「管理係」を廃止する。

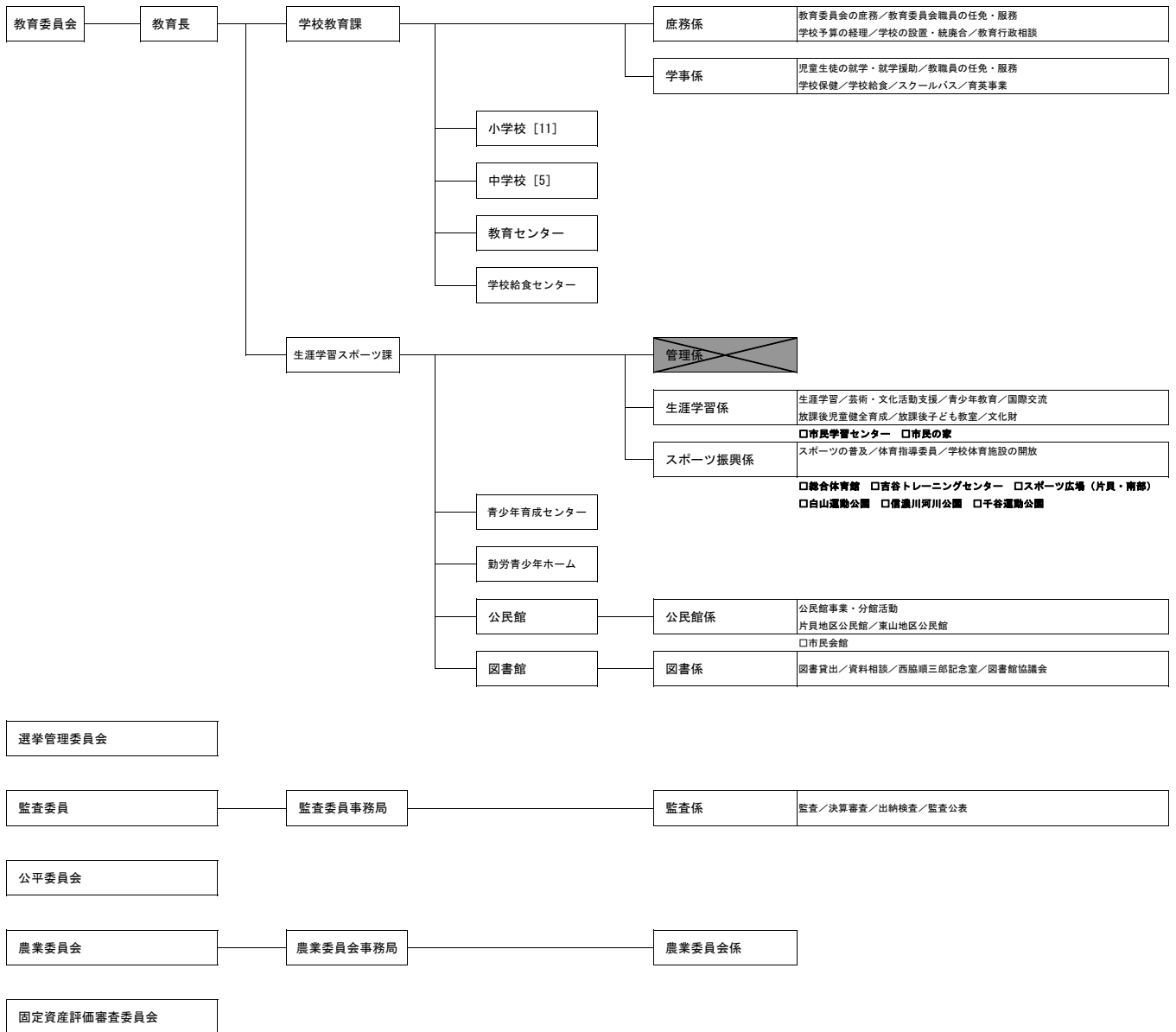
※機構改革(案)の組織図を添付しています。

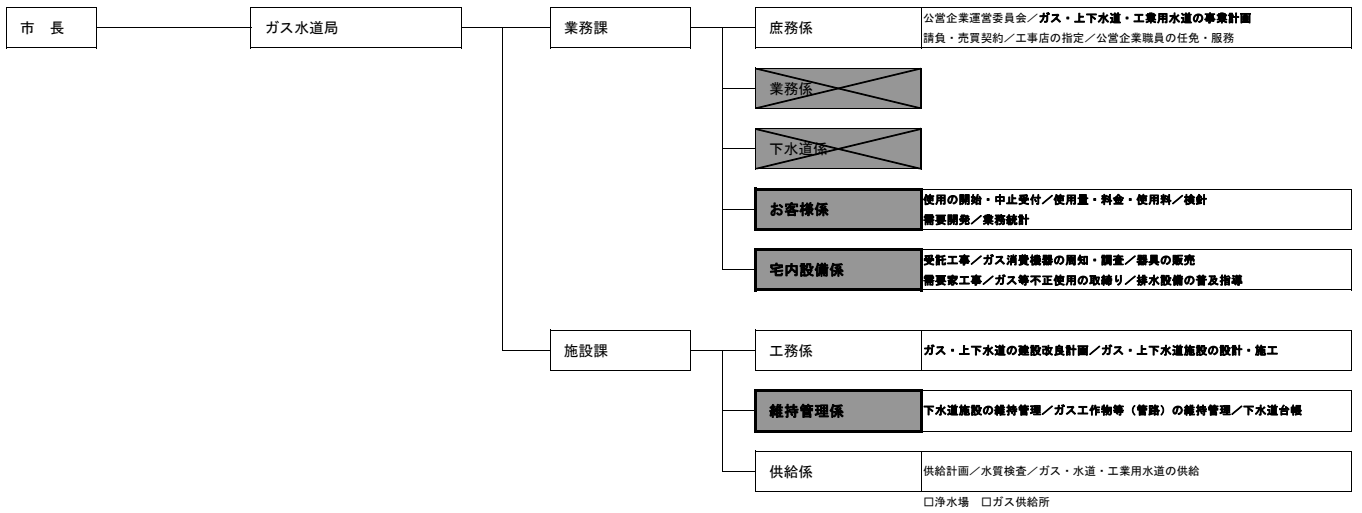
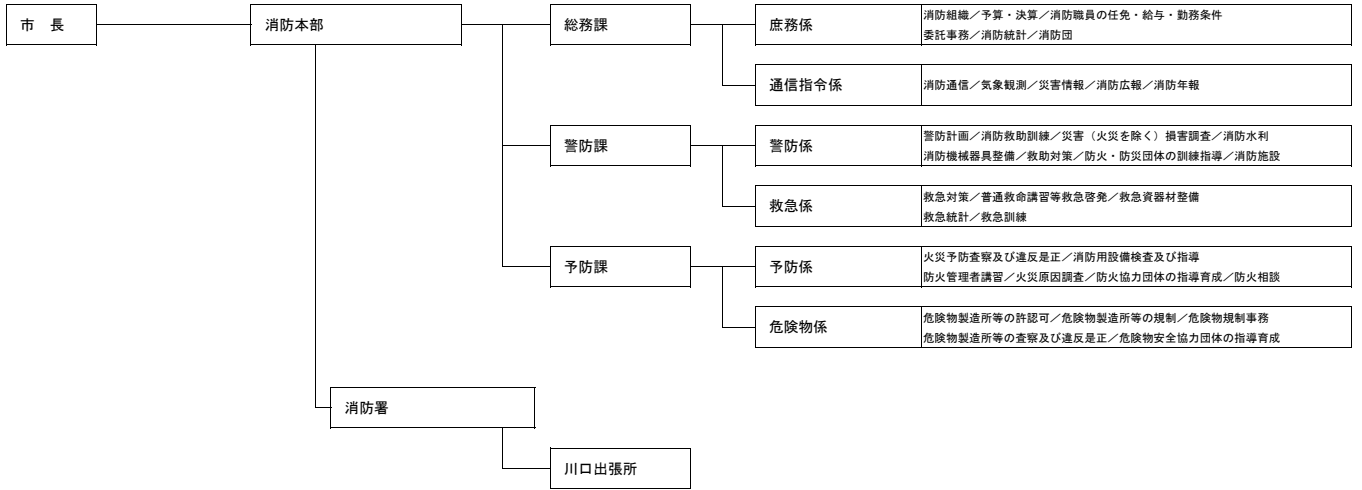
本件に関するお問い合わせ先／小千谷市企画政策課 企画経営係 担当／大矢
TEL : 0258-83-3507 FAX:0258-83-2789 E-mail : plan@city.ojiya.niigata.jp

小千谷市の行政組織 機構改革(案)









平成 24 年 1 月 25 日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所

小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

「自治体スクラム支援会議 I Nおぢや」の開催について

「自治体スクラム支援会議」は、東京都杉並区と同区が災害時相互援助協定を結んでいる 4 自治体で構成する会議で、東日本大震災で大きな被害を受けた福島県南相馬市に対し、初動対応から今日まで連携・協力しながら支援するとともに、災害時における基礎自治体の自主活動を一層促進するために必要な災害救助法の改正に向けた取り組みを推進していくことを目的に、平成 23 年 4 月 8 日に設立された組織です。

今回は当市を会場として、南相馬市の今後の支援の方向性やスクラム支援会議のあり方等について協議するとともに、昨年 10 月にオープンした「おぢや震災ミュージアムそなえ館」を視察します。

■自治体スクラム支援会議 I Nおぢや

- ◆日時 平成 24 年 2 月 4 日・5 日（日）
- ◆日程 2 月 4 日 15:00～○市内施設視察 1（錦鯉の里）
2 月 5 日 9:00～○自治体スクラム支援会議（おぢや震災ミュージアムそなえ館）
○市内施設視察 2（おぢや震災ミュージアムそなえ館）
- ◆会議会場 おぢや震災ミュージアム「そなえ館」（小千谷市上ノ山 4-4-2：Tel.0258-89-7480）
- ◆参加自治体 東京都杉並区（田中良区長）
福島県南相馬市（桜井勝延市長）
北海道名寄市（加藤剛士市長）
群馬県東吾妻町（中澤恒喜町長）
新潟県小千谷市（谷井靖夫市長）
- ◆会議内容 ○今後の南相馬市への支援について
○「水平的支援」の法制化と仕組みの充実に向けた取り組みについて
○今後の自治体スクラム支援会議について
- ◆おぢや震災ミュージアム「そなえ館」見学

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市総務課 担当／総務課長：渡辺、危機管理室長：新保
TEL：0258-83-3506 FAX:0258-83-2789 E-mail：bousai@city.ojiya.niigata.jp

報道機関各位



新潟県小千谷市役所

小千谷市城内2丁目7番5号

白と光の祭典**第36回おぢや風船一揆** が開催されます。

小千谷市で、2月25日(土)～26日(日)に白と光の祭典「おぢや風船一揆」が開催されます。

純白の雪原を熱気球が色鮮やかに彩る「おぢや風船一揆」は、雪国越後の冬の風物詩となっています。

「おぢや風船一揆」では、日本を代表する熱気球大会「2012 日本海カップクロスカントリー一選手権」が開催され、全国各地から色とりどりの熱気球約40機が参加し県知事賞を目指して競技が行われます。

また、2月25日(土)の夜には、熱気球(巨大提灯)・花火・雪灯籠の光の競演「グローバルーンフェスティバル」の幻想的な世界が楽しめます。

■熱気球競技大会「2012 日本海カップクロスカントリー一選手権」(競技フライト)

- ◆離陸予定日時 2月25日(土) 午前8時、午後2時
2月26日(日) 午前8時

- ◆会場 小千谷市西中会場

※同会場では、2月25日(土)13:00～13:30、紙熱気球「ぼこ」上げ大会を開催します。(天候等の事情により実施できない場合は、翌26日(日)7:00～7:30に順延)

■雪原イベント

- ◆日時 2月25日(土) 午前9時～午後6時30分
2月26日(日) 午前9時～午後1時

- ◆会場 小千谷市平沢会場(イオン小千谷店北側)

- ◆内容 雪像コンテスト、熱気球試乗体験、イベント広場、小千谷縮雪さらし、グローバルーンフェスティバル、子供向けイベント、うまいもの広場ほか

※熱気球競技大会及び熱気球試乗体験は、安全のため気象条件によっては中止になることがあります。

また、スケジュールは、天候等の事情により変更や中止になることがあります。

※詳細は、小千谷観光協会ホームページをご覧ください。<http://www.ojiyakanko.com>

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市商工観光課観光係 担当／小林・関根

TEL : 0258-83-3512 FAX:0258-83-0871 E-mail : kanko@city.ojiya.niigata.jp

平成 24 年 1 月 25 日

報道機関各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号**おぢやクラインガルテンふれあいの里 利用者募集**
「ふれあいの里で、農的暮らしをはじめてみませんか」

小千谷市では、「おぢやクラインガルテンふれあいの里」の平成 24 年度利用者を募集しています。

ふれあいの里には、田舎暮らしを目的とした畑付きの宿泊施設を 1 年契約で利用する滞在型農園と、宿泊施設を伴わない畑だけを利用する日帰り型農園があります。敷地内の管理棟には管理員や農業指導員が常駐して、宿泊する方の日常生活相談や、畑利用者への栽培指導などを行っていますので、初めての方でも安心です。

大河信濃川を望み、魚沼三山を眺望できる絶景の地で農的な暮らしをはじめてみませんか。

■おぢやクラインガルテンふれあいの里

- ◆滞在型農園：全 30 区画（小千谷市以外に住所を有する方が対象です。）
 - ・主な設備 1 LDK（ロフト付）40 m²、バス、トイレ、エアコン、車庫 25 m²、光回線インターネット接続可能、専用農園 200 m²、農業指導、農機具貸出し有り
 - ・利用料 396,000 円（光熱水費は別途実費）
 - ・募集区画 8 区画
- ◆日帰り型農園：全 84 区画（小千谷市内、市外の方、誰でもご利用いただけます。）
 - ・区画面積 50 m²／1 区画
 - ・利用料 9,600 円／年
 - ・主な設備 管理棟において休憩できるほか、農業指導、農機具貸出しあり
 - ・募集区画 48 区画
- ◆所在地 小千谷市大字塩殿甲 1814-2（関越道越後川口 IC から車で 3 分）
- ◆契約期間 平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日（1 年間）
※5 年まで継続可能（条件によって更に更新有り）

■募集要項

- ◆申込方法 申請書、アンケート、（滞在型農園利用の場合、代表者の経歴書、住民票も添付）を提出してください。
- ◆申請書類等 市のホームページ（<http://www.city.ojiya.niigata.jp>）からダウンロードされるか、お問い合わせいただければ郵送でお届けします。

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市農林課農村支援係 担当／波間・広川

TEL：0258-83-3510 FAX：0258-83-2789 E-mail：nourin@city.ojiya.niigata.jp